

2023年度事業報告

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

■国際理解講座 Global Understanding 沖縄フィールドワーク

内容：沖縄戦の歴史と米軍基地問題について各地を訪れて学ぶ体験型学習

期間：5月3日～6日

受講者・参加者数：学生7名(うち友愛学舎3名、国際学舎3名・台湾、アメリカ)

■日中韓大学生相互交流ワークショップ in 韓国

内容：韓国大田市にある国立ハンバツ大学日本語学部の大学生と交流をした。ワークショップ、ホームステイ、フィールドワークなどを通じて、異なる文化に触れあいながらお互いについて理解し合う学びの多いプログラムとなった

期間：8月21日～24日

受講者・参加者数：日本の大学から7人、ハンバツ大学から15人

■年中行事を楽しむ会 Feel Japan

留学生が日本の文化や風習を体験し、国際理解を促進するプログラム

(歌舞伎鑑賞)

期間：6月23日

参加者数：計22名参加(引率4名、留学生9名、日本語ボランティアの会9名)

内容：ほとんどの参加者が歌舞伎鑑賞は初めてで興味津々だった。専門用語が多かったが、英語による解説付きだったので楽しく日本文化が楽しめた

(七夕イベント)

七夕を迎え、3号館1階ロビーに笹と短冊一式を用意した。留学生たちは、笹飾りをしたり、短冊に願い事を書いたりと積極的に参加してくれた。今年度は日本語ボランティアの会の学生たちにも願い事をたくさん書いてもらった。短冊には、大学生活や就職がうまくいくことを願うもの、コロナ禍の終息を祈るものなど、それぞれの大切な願い事がたくさん書かれていた

(たこ焼きパーティー)

7月7日、3号館1階ロビーにて留学生とRAでたこ焼きパーティーをした。10名程度の参加だったのでこじんまりとした雰囲気の中、みんなで楽しみながら一緒にたこ焼きを作ることができた。留学生のリクエストをRAが受けて企画したパーティーだったので、お互い楽しめるよい機会となった

(ひな祭り)

5号館ロビーにひな祭りの展示を行った

■企画展 祈りの人 渡辺禎雄型染版画展～齋藤治子コレクション～Vol.7

故齋藤治子氏のご遺族より寄贈された作品のなかから初披露の中品作品を中心に展示

会場：スコットホールギャラリー

期間：12月10日～24日

来場者：50名

（2）国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

内容：2022年度のトライアルレッスンの経験を踏まえ、2023年度は対面クラスとオンラインクラスを並行した。ボランティアの減少に伴い、予約制度を導入し事前にマッチングする形で本格的に活動を始めた。ボランティアが熱心に学習者を教え、日本語を必要としている人たちの大切な居場所となった

活動日：水曜日2クラス(午前クラスは9月から開始)、金曜日1クラス

活動期間：4月5日～2024年3月15日

参加人数：合計79日(水曜日41日、金曜日38日)の授業日があった

のべ参加人数はボランティア920名、学習者1303名

活動方式：対面授業とオンライン授業を並行

■野宿者支援給食活動(共催)

月2回の給食活動の食事準備、配食のボランティア活動を通して、貧困や生存権の問題を身近に感じた。友愛学舎や国際学舎の寮生のほか、早稲田教会や学生YMCAなどから学生、青年が参加した。準備に年間のべ395人、配食にのべ424人が参加し、ボランティア数は過去最多を更新した。年間のべ3,309食のお弁当と1,259個のおにぎりを準備し、のべ2,533人の方に保存食などと一緒にお渡しした

保存食は学校の備蓄(聖望学園中学校・高等学校他)やNPO法人セカンドハーベスト・ジャパン、日本福音ルーテル帯広教会、そのほか個人からの寄付も多くあった。また講演及びフィールドワークとして立教大学と恵泉女学園大学のほか、新たに青山学院大学と桜美林大学からも依頼があり、受け入れた

（3）国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■多文化共生のためのボランティア講座ー地域における日本語学習支援について学びましょう

多文化共生社会の創生に資するためにどのような支援ができるのか、地域日本語教室活動を例に模

索した

期間：4月8日～7月1日全10回、対面3回、オンライン7回

受講者数：4名

講師：福村真紀子(茨城大学大学院助教、親子サークル「多文化ひろば あいあい」代表)

■Let' s 朗読

朗読の基本や声の出し方などを学び、元気を養い、詩や物語の世界で感性を磨く。コロナの状況を鑑み、全8回中対面クラスを3回にし、残りはオンラインクラスで実施した。受講生も朗読の発表会などに向けて練習に励み、目標に向かって着実に実力をつけている

期間：通年で前期・後期各8回開催

受講者数：前期8名、後期8名

講師：飯島晶子(朗読家「VoiceK」主宰)

■パイプオルガン・アカデミー

期間：4月1日～2024年3月31日までに81レッスンと1体験レッスンを実施

受講生：13名

講師：水野均(桐朋学園大学講師、早稲田教会オルガニスト)

協力：早稲田教会

■ラジャゴパール氏講演会

第40回庭野平和賞受賞のために来日されていたラジャゴパール氏が受賞記念講演に先駆け、リバティホールにて講演会を開催。ガンディー主義に基づき非暴力的に対話によって政府へ働きかけをしてきた活動を伺った

実施日：5月9日

参加者：20名ほど

講師：ラジャゴパール氏(非営利団体エクタ・パリシャド創設者)

主催：早稲田奉仕園、(一社)日印サルボダヤ交友会、(NPO法人)アークス仏教国際協力ネットワーク、(NPO法人)シャプラニール=市民による海外協力の会

■STUDY HALL!

STUDY HALL vol.39 映画「隠された爪跡」&《In-Mates》同時上映会

関東大震災から100年の節目に合わせ、スコットホールで朝鮮人虐殺についての映画を2本上映した。上映後、共催の「百年(ペンニョン)」の内山晴海さんと《In-Mates》監督の飯山由貴さんがそれぞれトークを行った。

実施日：5月27日 19:00～21:00

参加者：120名

STUDY HALL vol. 40 「映画『標的』上映会&アフタートーク」

植村隆氏を追ったドキュメンタリー映画を一日 2 回上映+植村氏によるアフタートークを行った。

期間：7月29日①13:30～15:10、②16:30～18:10

参加者①23名、②24名

講師：植村隆(ジャーナリスト)

STUDY HALL vol. 41 キッチンテーブルから伝えるミャンマーのいま

TVディレクターの樋爪かおりさんを司会にむかえ、ミャンマー出身のお二人にミャンマーのいまをお聞きした。

日時：12月16日 15:00～17:00

参加者：32名

講師：樋爪かおり(TVディレクター)

■オンライン・聖書講座—新しい聖書の学び『マルコ福音書をじっくり読む(第5期)』(共催)

2018年度からの継続で「マルコ福音書」9章33節以下を丁寧に読み進めた。2023年度をもって講座は終了した。この講座の成果を盛り込んだ講師による著作『マルコ福音書をじっくり読む』が刊行された。また、本講座終了後の2024年4月2日に特別企画として「贖罪論に関するおしゃべりの会」を開催した

期 間:通年毎月第2火曜日全10回

受講者数：66名

講 師:山口里子(日本フェミニスト神学宣教センター共同ディレクター)

共 催:日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

■オンライン聖書講座特別編 聖書に向き合うLGBTQ+(プラス)のキリスト者たちと

日時：6月13日

参加者数：マルコ講座受講者と一般参加21名

講師：ベルナデッテ・ブルーテン(ブランダイス大学名誉教授)

通訳：渡邊さゆり(日本バプテスト同盟駒込平和教会牧師)

共 催:日本クリスチャンアカデミー

■オンライン・日本キリスト教史を読むⅢ昭和編(共催)

第Ⅰ期明治編、第Ⅱ期大正編に続き、昭和の日本のキリスト教をリードした人々、由木康、赤岩栄、木俣敏、鈴木正久、北森嘉蔵、井上良雄、隅谷三喜男の生涯とその信仰理解を学ぶとともにキリスト教と社会の関連についても考察した

期間：通年全7回

受講者数：36名

講師：戒能信生(日本基督教団牧師、日本聖書神学校等講師)

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター・関西セミナーハウス活動センター

■オンライン・キリスト教文学に学ぶ キリスト教に深く根ざした文学の魅力ー遠藤周作『沈黙』
『深い河』から宮沢賢治『銀河鉄道の夜』へ(共催)

遠藤周作、宮沢賢治の作品に見られるキリスト教を読み解き、日本におけるキリスト教思想の受容を探る

期間：通年 遠藤周作4回、宮沢賢治2回

受講者数：19名

講師：山根道公(ノートルダム聖心女子大学教授)、山根知子(ノートルダム聖心女子大学教授)

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

■対面講座「キリスト教と文学」読書会(共催)

山本周五郎、阪田寛夫、シェークスピア、井上ひさし、アガサ・クリスティー、長与善郎、ステイブン・キング、辻邦夫の作品を精読しそのキリスト教信仰、思想を読み解く

期間：5月～2024年3月計8回

受講者数：各回平均11名

講師：柴崎聰(文芸評論家)

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

(4) 学寮運営事業(友愛学舎・ゲストハウス)

■友愛学舎

舎生数

2023年度は3年生3名、2年生3名の在寮生に加え、新2年生1名、新1年生3名を迎えてスタートした

活動

朝の会：学期期間中の月曜日から金曜日の基本7時から7時30分まで。聖書研究・創世記及び学生表も行った。毎月第1金曜日は信愛学舎と合同礼拝を行った

舎生会：毎月1回開催、友愛活動・生活について話し合った

年間活動：4月の活動開始に向け、新入生を含めたオリエンテーションを3月21日から22日まで九十九里浜にて実施し、寮生活の意義や奉仕園や友愛学舎の歴史を学ぶ機会を持った

2024年1月20日18:00より夜の会を開催、ゲストは伊藤圭之氏(友愛学舎OB、奉仕園評議員)。学生が企画・連絡調整をおこない、OBや関係者を招き、学生時代に取り組んだこと、社会人になってからの話等を聞く機会を持った

協力

古賀博牧師、中澤重光宣教師に聖書研究のほか寮運営全般のアドバイザーとして奉仕いただいた

研修助成実績

2024年3月12日～14日日本キリスト教団部落解放センター主催第25回部落解放ユースゼミナール於長崎県参加のため1名

2024年3月25日～27日マイノリティ宣教センター主催第6回マイノリティ・ユース・フォーラム「宮古島を旅する 新たなつながりへ 新たなうごきへ」於沖縄県参加のため1名

■キリスト教学生寮懇談会

都内及び近郊のキリスト教主義による超教派の学生寮のネットワーク。友愛学舎を含む10学寮(信愛学舎、山手学舎、山上学寮、東京ティラナスホール、登戸学寮、春風学寮、東大YMCA寮、一橋YMCA寮、同志会学生寮)の担当者による会合は開催できなかったが、見学や入寮希望の問い合わせ等で連携を取った

■ゲストハウス

1号館2階201～207号室の計7部屋を運営。23年度はのべ9名が在寮した。新たに3名が入寮し、5名が退寮した。現在2室の空きがある

(5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業(国際友愛学舎)

■国際学舎

早稲田大学の外国人留学生・研究員寮。レジデントアシスタント(RA)のRAコミュニティールーム滞在は日時を定めず事前告知制に変更のうえ再開された。コロナ禍の影響が尾を引いたため五月雨式な入寮に対応するなど、早大レジデンスセンターとの情報共有に努め柔軟な対応にあたった

2023年度国・地域別居住者数(合計256名、37の国と地域、RA含む)

アメリカ	72	イギリス	28	日本	17	ドイツ	16
韓国	14	台湾	12	中国	12	フランス	10
イタリア	10	スウェーデン	7	オランダ	6	アイルランド	5
スイス	5	スペイン	5	オーストラリア	4	シンガポール	3
香港	3	フィンランド	3	オーストリア	2	カナダ	2
タイ	2	チリ	2	デンマーク	2	インド	1
ルーマニア	1	ルクセンブルク	1	トルコ	1	インドネシア	1
メキシコ	1	マレーシア	1	ポルトガル	1	ノルウェー	1
エクアドル	1	ニュージーランド	1	スロバキア	1	ベトナム	1
チェコ	1						

■健康相談室の運営

寮生の希望者にオンラインで面談を実施し健康相談を行った

■ウェルカムパーティー

4月23日にRAの主催によりウェルカムイベントとして井の頭公園へピクニックに行った。20名ほど参加したが、お弁当を食べたり、スポーツをしたりと寮生同士の交流が深まった

9月26日に友愛舎生の主催によりリバティホールでウェルカムパーティーを行った。30名ほど集まり、自己紹介したり、ゲームをしたりと楽しい交流の時間となった

■奉仕園クリスマス会

12月9日に開催した。寮生を中心に50名ほど参加した。スコットホールでの「しずかなひととき」、留学生やRAによる素敵なアトラクション、友愛学舎生に友愛紹介プログラム及びクイズタイムをおこない、充実したプログラムとなった。その後3号館ロビーにてピザパーティーを行った

■Cooking Exchange Program

5月27日と11月11日に計2回行った。メニューは、留学生たちも簡単に作れる和食ということで定番の「卵焼き&巻き寿司」。各回それぞれ留学生とRAが10名ほど参加し、日本の食文化や調理の仕方について学ぶ時間をもった。コロナも少し落ち着いてきたので、料理を作った後お皿にきれいに盛り付け、みんなで懇談しながら味わった。母国に帰る前に楽しい思い出作りができて良かった

■留学生スキー研修@万座温泉

群馬県にある万座温泉を訪れ、スキー・スノーボード体験をした。初めてゲレンデを訪れる留学生はスキー教室で基本姿勢など学んでから合流した。2日間、大きなゲレンデを満喫しつつ頑張ってくれた。スキーの後には何種類かの温泉を楽しんだり、参加者間で懇談する時間を持つことができ、よい交流の会となった

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生8名、RA1名、職員引率2名

日程：2024年1月13日～14日1泊2日

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■不動産賃貸事業

月極駐車場及び事務所の賃貸、宣教師館・牧師館、教会への施設貸出し。通年満車の契約をいただいている

■早大染谷会館管理

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応を実施

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業

■施設の貸与(会議室・ホール・ギャラリー)

お客様のご利用内容は、会議室・ホールは学習会、語学教室、音楽練習やコンサート、講演会など多岐に渡っている。早稲田大学サークルと外国語・朗読・文芸・詩作サークルの定期的な利用が顕著である

スチールは半数以上が婚礼前撮り業者となり、フォトウェディングの需要が顕著である。安定的にファッション雑誌・カタログ利用が多く、動画は少なかった

撮影利用件数実績

	スチール	動画	合計
2023年度	107	6	113
2022年度	120	14	134
2021年度	124	21	145
2020年度	49	30	79
2019年度	33	14	47

■施設・備品

スコットホールの改修工事では経年劣化していた階段・廊下部分の赤絨毯を剥がし、元の木目を生かした修繕をおこなった

■早稲田スコットホールギャラリー

絵画展だけでなく様々なジャンルの展示利用やリピーター利用も増加した

2023年7月24日～8月6日 トゥーヴァージンズ(衣裳)

2023年9月13日～9月18日 サイトウヤスヒロ展(油彩)

2023年10月25日～10月29日 Contemporary Japanese Violin Makers(楽器)

2023年11月2日～11月7日 森の時間・森の贈物Ⅱ 日本画展 一岡田欣也一

2023年11月12日～11月19日 渡辺稔浩陶展「祈り」

2023年11月23日～11月27日 みんなの漆展 村井養作漆サロン

2023年12月6日～12月10日 トナカイは点滅している(絵画)

2023年12月20日～12月24日 渡辺禎雄型染版画 - 齋藤治子コレクション Vol.7

2024年3月8日～3月10日 パリと音楽～世紀末の街角～(アンティーク雑貨)

2024年3月17日～3月23日 五十棲さやか墨絵展 波の音を聞く

■セミナープログラム(協賛を含む)の開催

企画展

- ① サイトウヤスヒロ展

サイトウ氏略歴：武蔵野美術大学大学院美術科油絵コースを修了後、フランス・パリのアカデミー・グラン・ショミエール美術学校、パリ美術大学で学んだ後、ル・サロン展(Société des Artistes Français SALON)やドートンヌ展(Salon D' AUTOMNE)で入選以降、日本(日本橋丸善など)やフランスで個展を開催している。

会場：スコットホールギャラリー

期間：9月13日～9月18日

来場者：60名

②祈りの人 渡辺禎雄型染版画展～齋藤治子コレクション～Vol.7

故齋藤治子氏のご遺族より寄贈された作品のなかから初披露の中品作品を中心に展示

会場：スコットホールギャラリー

期間：2023年12月10日-12月24日

来場者：50名

チャリティ古本市

古本市6月～8月上旬2023年度の売上は35,135円となった。2022年度の売上19,205円と併せて、国境なき医師団に全額寄付した

スコットホール公開日・ガイドツアー

数年ぶりに行ったガイドツアーと見学会の2部構成にし、コーヒーサービスを行うなど普段スコットホールを見ることのない方々への開放としても良い機会である

期日：10月26日

来場者数：抽選、事前予約制・満席、延べ人数160名

所蔵作品の貸出

キリスト教美術の振興・発展および作品を通じてのキリスト教思想・文化への理解促進を目的として、渡辺禎雄型染版画を中心に所蔵作品の貸出事業を5月に開始した

3. 公益目的事業・収益事業共通業務

■業務管理システム等の整備

各部署の事務作業のデジタル化を継続している。2023年9月より、寮費をオンラインで決済可能なシステムFlywireを運用開始した。居住者が自国通貨で明示された金額を決済し、奉仕園には日本円で満額着金する。奉仕園のシステムと連携して自動で寮費の伝票を起こし、居住者本人へ支払完了メールを送信する

4. 法人総務

■財団会議

①理事会

第1回定時理事会(6月9日)

- 第1号議案 2022年度事業報告及び計算書類承認の件
- 第2号議案 ハラスメントの防止に関する規程の件
- 第3号議案 役員等人事に関する件
- 第4号議案 専務理事報酬に関する件
- 第5号議案 2023年度定時評議員会開催に関する件

第2回定時理事会(3月8日)

- 第1号議案 2024年度事業計画及び予算に関する件
- 第2号議案 早稲田大学との第1国際学舎賃貸借契約及び国際学舎管理運営に関する契約の件
- 第3号議案 早稲田教会からの寄付の件
- 第4号議案 銀行借入更新の件

第1回臨時理事会(7月3日)

- 第1号議案 理事長選定の件
- 第2号議案 専務理事選定の件
- 第3号議案 常任理事選定の件
- 第4号議案 スコットホール改修工事の件

第2回臨時理事会(9月20日)

- 第1号議案 理事人事の件
- 第2号議案 臨時評議員会開催の件

②評議員会

定時評議員会(6月26日)

- 第1号議案 2022年度事業報告及び計算書類承認の件
- 第2号議案 役員等人事に関する件
- 第3号議案 専務理事報酬に関する件

臨時評議員(9月28日)

- 議案 理事人事の件

③常任理事会

第1回常任理事会(5月30日)

- 第1号議案 2022年度事業報告及び計算書類承認の件
- 第2号議案 ハラスメントの防止に関する規程の件
- 第3号議案 役員等人事に関する件
- 第4号議案 専務理事報酬に関する件
- 第5号議案 2023年度第1回定時理事会及び定時評議員会開催に関する件

第2回常任理事会(10月18日)

- 第1号議案 国際学舎賃貸借契約及び管理運営契約の件
- 第2号議案 日本バプテスト同盟東京平和教会への施設貸出に関する件
- 第3号議案 防犯カメラ運用ガイドラインの件
- 第4号議案 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の件
- 第5号議案 西川職員の定年後の処遇に関する件

第3回常任理事会(2月21日)

- 第1号議案 早稲田大学との第1国際学舎賃貸借契約及び国際学舎管理運営に関する契約の件
- 第2号議案 2024年度事業計画及び予算に関する件
- 第3号議案 公益目的事業会計剰余金の扱いに関する内閣府との交渉の件
- 第4号議案 日本バプテスト同盟との建物使用契約に関する件
- 第5号議案 シャプラニール事務所移転に関する件
- 第6号議案 早稲田教会からの寄付の件
- 第7号議案 銀行借入更新の件
- 第8号議案 2023年度第2回定時理事会開催の件

常任理事連絡会(8月17日)

諸報告

④ワーキンググループ会議

- 5月11日 奉仕園の理念について
- 6月28日 国際学舎契約更新について
- 7月26日 一団地問題について
- 10月18日 国際学舎契約更新について
- 2月1日 国際学舎契約更新について
- 3月27日 国際学舎契約更新について

⑤職員会

原則毎月第1及び第3火曜日

島田徳子氏(武蔵野大学教授)を講師に人権を考える研修を実施(2024年2月)

⑥マネージャー会議

原則毎月第2週を除く毎週開催

■監査

監事監査: 5月17日(決算)、12月6日(期中)

関口英二郎公認会計士による外部監査：4月3日(実査)、4月14日(期中)、
5月15日・17日(決算)、3月22日(期中)

■月次会計報告

石橋税務会計事務所と毎月1回会計、財務の打ち合わせを行う

■役員等人事

①6月26日付

理事：(重任)内田勝一、相賀昇、古賀博、阿部千秋、麻生享志、稲垣隆一、小川忠、土屋忍、
西川嗣夫

(新任)名取智子、吉原洋

(退任)大橋正明

評議員：(重任)石川良一、李明生、大江浩、原真由美、土方恭子、岡崎菜佳子、小川有閑、
関伸子、尾内(上久保)一美、友金孝夫

(新任)伊藤圭之、杉尾麻帆

(退任)大矢直人、名取智子、吉原洋

監事：(重任)山崎龍一、(再任)大橋正明

②7月3日付

理事長：(重任)内田勝一

専務理事：(重任)阿部千秋

常任理事：(重任)相賀昇、古賀博、(退任)大橋正明

③9月28日付

理事：(新任)篠原初枝、(退任)麻生享志

■職員人事

契約職員1名を4月1日付けにて採用

正職員1名定年退職・シニアマネージャー退任(2024年2月20日付)、嘱託職員採用(同2月21日付)

■登記

評議員、理事、監事重任、就任、退任の登記(8月1日)

麻生享志理事退任及び篠原初枝理事就任登記(10月31日)

■行政庁(内閣府)諸届

2022年度事業報告等の提出(6月27日)

評議員、理事、監事変更の届出(8月4日)

理事変更の届出(11月2日)

2024年度事業計画書等の提出(3月28日)

■早稲田奉仕園賛助会員

68名に加入いただいた

■広報

奉仕園通信は85号(8月25日)、86号(2月28日)を発行、ホームページの更新及び「奉仕園スタッフのブログ」の掲載を随時おこなった

■早稲田正午礼拝

コロナ感染症拡大のため中止していたが、2023年4月より月1回にて再開した。近隣教会やキリスト教諸団体の職員等毎回30から40名の参加がある。

2023年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。